

# 新潟センチュリー 株式会社

## DX宣言書

2025年6月25日  
新潟センチュリー 株式会社  
代表取締役 坂上 登世史

### □ 経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると共に、未来を見据えた社会創造に貢献する

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して業務の標準化を推進し、組織全体の生産性を向上します
- ◆ 業務効率化により余剰時間を創出し、事業拡大に向けた取り組みを推進します

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ~ 2026年6月)

戦略 「デジタル技術を活用した社内業務の効率化」

- 施策
- ・ 導入済みシステムを最大限活用し、勤怠に関する各種申請フローをデジタル化することで、作業時間の短縮と処理速度の向上を実現
  - ・ 図面の読み取りから積算業務、ならびに受注から施工までのプロセスを標準化・自動化することで、積算業務にかかる作業時間の短縮と、数量・工数見積の精度向上を実現
  - ・ ドキュメント管理方法を見直し、安全書類の確認と受領をリアルタイムで実施することで、ペーパーレス化と効率的な運用を実現
  - ・ 上記施策に基づく新しい業務フローやマニュアルを作成し、社内勉強会を実施
  - ・ 社内のコミュニケーションを更に活性化するため、定期的な会議を実施し、従業員間の意見交換を推進

#### ➤ フェーズ2(2026年7月 ~ 2026年12月)

戦略 「デジタル技術を活用した人材育成の強化」

- 施策
- ・ 事業多角化に向けた人材育成戦略を検討、実施
- 【具体例】
- 営業体制: 営業スキル向上に向けた定期研修の開催と、ポータルサイトによる商品情報(仕様変更・価格改定等)の一元管理により、営業効率を支援
  - 技術継承: マニュアル作成ツール等のデジタル技術を活用しベテラン職人の業務ノウハウを電子化
  - 多能工化: デジタル技術を活用し、各業務のスキルレベルをデータベース化、可視化された各従業員の能力に基づき個別の育成計画を策定

#### ➤ フェーズ3(2027年1月 ~ 2028年5月)

戦略 「デジタル技術で実現する事業拡大」

- 施策
- ・ オリジナル商品の開発・展開に向けた取り組みを検討
- 【取り組み例】
- マーケティング戦略: 自社製品・新製品の市場を分析し、それに基づいた販売促進活動を展開
  - 製品開発 : お客さまからの意見を基にした継続的な製品改良の仕組みを確立
  - ブランド認知度向上: 会社ホームページを活用しDXへの取り組み等企業の魅力を発信

### □ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 図面読み取りから見積書作成、詳細図面作成までの作業時間 : 30%以上削減(~2026年6月)
- ・ 各従業員のスキルレベル一覧表の作成 : 完了(~2026年12月)
- ・ 販売促進キャンペーン実施数 : 年3回以上(~2028年5月)